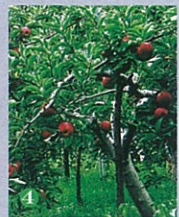


市街地から北を眺めて、
アンテナのある山が三登山です。



カタクリの群生、満開の桜、
頂上付近のツツジ、山ぼうし
また、山麓のリンゴなど、
四季折々の表情を楽しむことが
できます。



- ① 山千寺のシタレザクラ
- ② コース案内看板
- ③ カタクリの花
- ④ リンゴの実



このコースは、若槻地区のみなさんによる
三登山トレッキングコース愛護会によって
護られています。

お問い合わせは…

長野市産業振興部観光課
phone.026-224-5042
<http://www.city.nagano.nagano.jp/>
e-mail:kankou@city.nagano.nagano.jp

ながの観光コンベンションビューロー
phone.026-223-6050
<http://www.nagano-cvb.or.jp>
e-mail:omotenashi@nagano-cvb.or.jp

三登山トレッキングコース愛護会（長野市若槻支所内）
phone.026-296-3908



この印刷物は、大豆油インクおよび、古紙
配合率100%再生紙を使用しています。



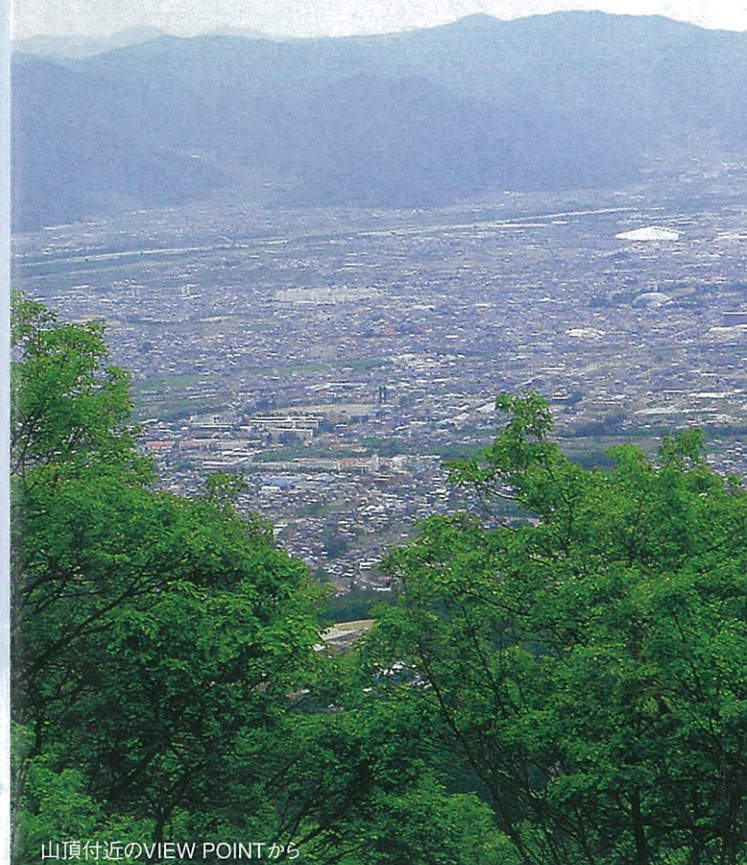
わかつき

みとやま

若槻 三登山

トレッキングコース 923m

善光寺平を見下ろす三登山、髻(もとどり)山は、戦国時代は北国街道沿いの要衝でした。往時をしのびながら山城跡をめぐる歴史散策コースです。



山頂付近のVIEW POINTから

四季折々の自然、 展望・史跡ウォッチングを楽しみながら あなたに合ったコースを歩いてみよう!



蚊里田八幡宮
ご神体は神功皇后が朝鮮征伐の折肌身に帯せられた鎮懐石である。後に八幡太郎源義家が陸奥討伐に際して八幡大神として陣中に奉載して勝利した。12世紀に鎌倉幕府の地頭職としてこの地に赴任した義家の孫、源頼隆が社殿を創建してこの霊石を奉納した。
5月5日の例大祭には佐久間象山筆の大幟が立ち、伝統の相撲大会などもあり境内は善男善女で賑わう。

若槻山城番所跡
「ぼんどこ」と呼び、山城本郭の北の備えである。ここまで来ると山頂のアンテナを指呼の間に見ることが出来る。
これより北には更に幾つかの堀切と郭が連なり北からの守りに意を注いだ様子が覗える。これらの機能は明確ではないが、甲越合戦に際して獲線やその北部の越後勢の動静を探り「ぼんどこ」でノロシにより本隊に通報したのではないかと、とも思われている。



笠松地蔵
土京山の西、釣鐘堂山の西北麓に穏やかな表情でたたく座像がおられる。かつてはここに松の大木があり、上部の枝が笠状に広がりお地蔵様を風雨からお守りし笠松と言われていたが、残念な事に平成初年代に枯れて現在は大きな切り株がお地蔵さんの裏にその跡を留めている。
昭和28年まではここから北に伸びる道の突き当りに円竜寺という古刹があり、参道として賑わった。



土京山城跡
三登山から流れてきた尾根が平坦部に届く寸前に聳える独立峰の頂上にある。史実は不明であり機能も明確ではないが周辺に釣鐘堂池、厩建などの地名があり歴史を感じさせる。
城跡は木立に囲まれているが、かつては眺望に富む所と言われた。はるか北の髷山城と西の若槻山城を中継するノロシ台の可能性も捨てきれない。



吉古墳群
10ヘクタール程の地域に古墳63基、らしきもの32基、計95基が密集する大古墳群である。6世紀の造築で渡来人のものと思われる。
最大の古墳は第75号墳で羨道のある横穴式石室を有し高さは4mに及ぶ。北方の第31号、33号墳は竪穴式の大型古墳であるが、共に2個の石室を持っている。コースに近い第3号墳の横穴式石室の奥壁には合掌している座像の線刻があり注目される。



髷山観音清水
髷山城に出陣した上杉謙信が水を求めて井戸を掘らせたが兵を養う水量がなく、守り本尊として大切にしていた黄金の千手観音像を投じて祈願したところ、こんこんと清水が湧きだした。
その後村人が泉のほとりに堂を建て、泉からすくい上げた観音様を奉ったが、いつしかお堂も倒れ観音様は村のお寺に移したとされるものの現在その行方は不明である。



山千寺 (長野市指定文化財)
山千寺は天文12年(1543)に戸隠山頭光寺の末寺として開基された後焼失したが、武田信玄家臣丸子直久が本尊を奉載して観音堂を建立した。
観音堂は見上げる崖の上に石垣を組み入母屋造りの堂に縁を張り出し、京都清水寺を模した懸崖造りで、規模造作共に見事である。



若槻山城堂沢出城跡
若槻里城と山城を結ぶ尾根の中間に位置している。平成15年5月9日に若槻小学校で実施した若槻山城全校探訪の帰りに当時の6年1組の児童36名が発見した遺構であり、南東の険しい崖が堂沢地に落ち込む堅固の地である。
里城と山城の中継点であり、何らかの機能を持った遺構があっても不思議ではない場所である。この遺構の東北部にも人工的な地形が見られる。



若槻山城本郭跡 (長野市指定文化財)
12世紀にこの地に赴任して若槻氏を名乗った源頼隆が構築したと伝えられている。その後安曇から戦国期にかけて増築がおこなわれた。主郭と付随する五つの郭群の規模は抜群であり、北側の大小の堀切と中核土塁など大掛かりな山城である。
遺構は古さと共に、残存状況が良く山城の典型を示し、歴史的価値を有している。



髷山城跡
越後から川中島への通路を握る地に有り、上杉勢の拠点であった後に武田勢に占拠された。北から西にかけて戦国の遺構が多く残る。南と東は急峻な地形であり近年の探石跡が見られる。
本郭内に一等三角点、髷神社、抜け穴と言われる凹地などがあり、北側にはカタクリのお花畑がある。
南麓の宇佐美沢は上杉軍の後退に際し、勇将宇佐美定行が武田軍の攻撃を死守した所と伝えられる。

善光寺平を見下ろす若槻三登山を頂点に延べ23kmのダイナミックなトレッキングコース



ゴミは持ち帰りましょう。自然環境の保護にご協力をお願いします。
季節によっては野生動物にご注意ください。

三登山は若槻の北に聳える、アンテナが立ち並ぶ山塊で、東に目を移せば八方峠を経て髻山まで連なり、髻山頂からの眺望は格別です。